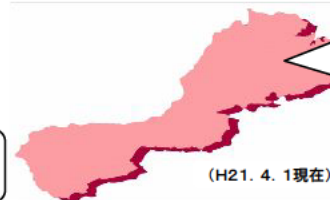


認知症を理解し、みんなで支えるまち

松阪市の取り組み



オレンジリングは「認知症の方を支援します」という印です。



(H21. 4. 1現在)

- 松阪市の人口 170,883人
- 65歳以上人口 40,504人
- 高齢化率 23.7

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。85歳以上では4人に1人にその症状があるといわれています。今後、人口の高齢化がすすむにつれてさらに増えてくると推計されています。

このようなことから認知症への関心は徐々に高まっていますが、まだ十分に理解されていません。

そこで松阪市では、『認知症になっても安心のまち』『認知症にならないまち』をめざして取り組んでいます。

物忘れ相談会

「このごろよく物忘れが起こるなあ・・・」
「もしかして認知症かな？」と悩んだ時は
専門医師に相談できます。

開催日時・定員： 月1回/3~4人
開催場所： 市民活動センター他
(開催の詳細は、広報まつさかをご覧ください。)



認知症予防教室「ひらめき教室」

- 脳の健康チェック(タッチパネル)とミニ講座

物忘れのチェックが5分程度で簡単に体験できます。

- 認知症予防教室「ひらめき教室」
3ヶ月間/10回コース

認知症講演会

乞うご期待!

認知症を正しく理解していただくために、今年度も講演会を開催する予定です。

地域資源マップづくりと地域へのアプローチ

認知症の方や家族を見守り、支える資源として作成しました。共通版には市全体の概略図に、公的な機関や認知症のことを相談できる医療機関等の情報を掲載し、各エリアの情報版がはいるポケットをつけました。



各エリアの情報版は、地域住民の方々が自分のまちが『こんなまちだったらいいな』などの話し合いを経て、住んでいるひとだからこそ分かる「活用できる資源」を地図に落とし込む作業をしたり、自ら安心見守り隊として登録していただきました。また、見守り隊に協力してもらえるように地域に働きかけもしていただきました。

認知症の人を支える人材の育成・地域づくり

認知症を正しく理解し、その啓発とともに、認知症の方や家族の見守り支えることを目的に活動しています。

- 認知症サポーター
- 高齢者安心見守り隊
- 認知症キャラバンメイト

